

売上高方式

申請店舗の売上高等記入・計算書

- 下の枠内から、算出方法を1つ選択(✓)し、令和元年又は2年の売上高を選び記入後、様式1に協力金申請額を転記してください。
- 申請額の算定となる売上高は、**消費税及び地方消費税を除いた金額です。(飲食業以外の営業収入や雑収入等も含まれません。)**
- テイクアウト、デリバリー等、営業時間短縮要請の対象外となる営業形態の売上については除いてください。**
- 税抜金額が不明の場合は『税込の売上高÷(1.00+税率)』で税抜売上高を計算しても構いません。(期間中の1日当りの売上高が税込83,333円以下の場合、税抜処理は不要です。)
- 記入した金額を確定申告書類で確認できない場合は、その内訳書(任意の様式でも構いません)も合わせて添付してください。
- 確定申告書類を提出できない場合、または、消費税及び地方消費税を除いた金額を記入できない場合は、最少額(1日当り25,000円)となります。

8月と9月の売上高から算出する方法(原則として、確定申告書類に毎月の売上高の記載がある場合に選択)

↓チェック R1年 R2年	申請店舗の8月の売上高(31日間)	申請店舗の9月の売上高(30日間)	申請店舗の8月と9月を合算した売上高(61日間)
	税抜 <input type="text"/> 円	税抜 <input type="text"/> 円	税抜 ① <input type="text"/> 円
	① <input type="text"/> 円	÷ 61 日 × 0.3 =	<input type="text"/> 円 → ② <input type="text"/> 円
	1日当りの支給決定額	協力した日数(様式3-1から転記)	協力金支給申請額(下限の場合45万円※)
	② <input type="text"/> 円	× <input type="text"/> 日 =	<input type="text"/> 円 → 様式1 申請金額 に転記

1日当りの支給決定額(千円未満切上げ: 下限2.5万円・上限7.5万円)

1年間の売上高から算出する方法(原則として、確定申告書類に毎月の売上高の記載が無い場合に選択が可能)

前年又は前々年の年間の合計額を税抜で記載してください。(法人は事業年度によって期間が異なります。)

申請店舗の年間の売上高	税抜 ③ <input type="text"/> 円
③ <input type="text"/> 円	÷ <input type="text"/> 日 × 0.3 =
1日当りの支給決定額	協力した日数(様式3-1から転記)
④ <input type="text"/> 円	× <input type="text"/> 日 =
	<input type="text"/> 円 → 様式1 申請金額 に転記

1日当りの支給決定額(千円未満切上げ: 下限2.5万円・上限7.5万円)

時間短縮等を要請した期間と同時期の売上高から算出する方法(期間と同時期の売上帳簿がある場合のみ選択可)

前年又は前々年の同期間(8/22~9/8)の合計額を税抜で記載してください。(各日の売上帳簿(写し)の添付が必須となります。)

申請店舗の期間中の売上高	税抜 ⑤ <input type="text"/> 円
⑤ <input type="text"/> 円	÷ 18 日 × 0.3 =
1日当りの支給決定額	協力した日数(様式3-1から転記)
⑥ <input type="text"/> 円	× <input type="text"/> 日 =
	<input type="text"/> 円 → 様式1 申請金額 に転記

1日当りの支給決定額(千円未満切上げ: 下限2.5万円・上限7.5万円)

※全ての期間ご協力いただいた場合の申請額